

令和元年（2019年）度 第4回枚方市NPO活動応援基金支援審査会 次第

日 時：令和2年（2020年）3月30日（月）13時00分～

会 場：市役所別館4階 特別会議室

1. 開 会

2. 案 件

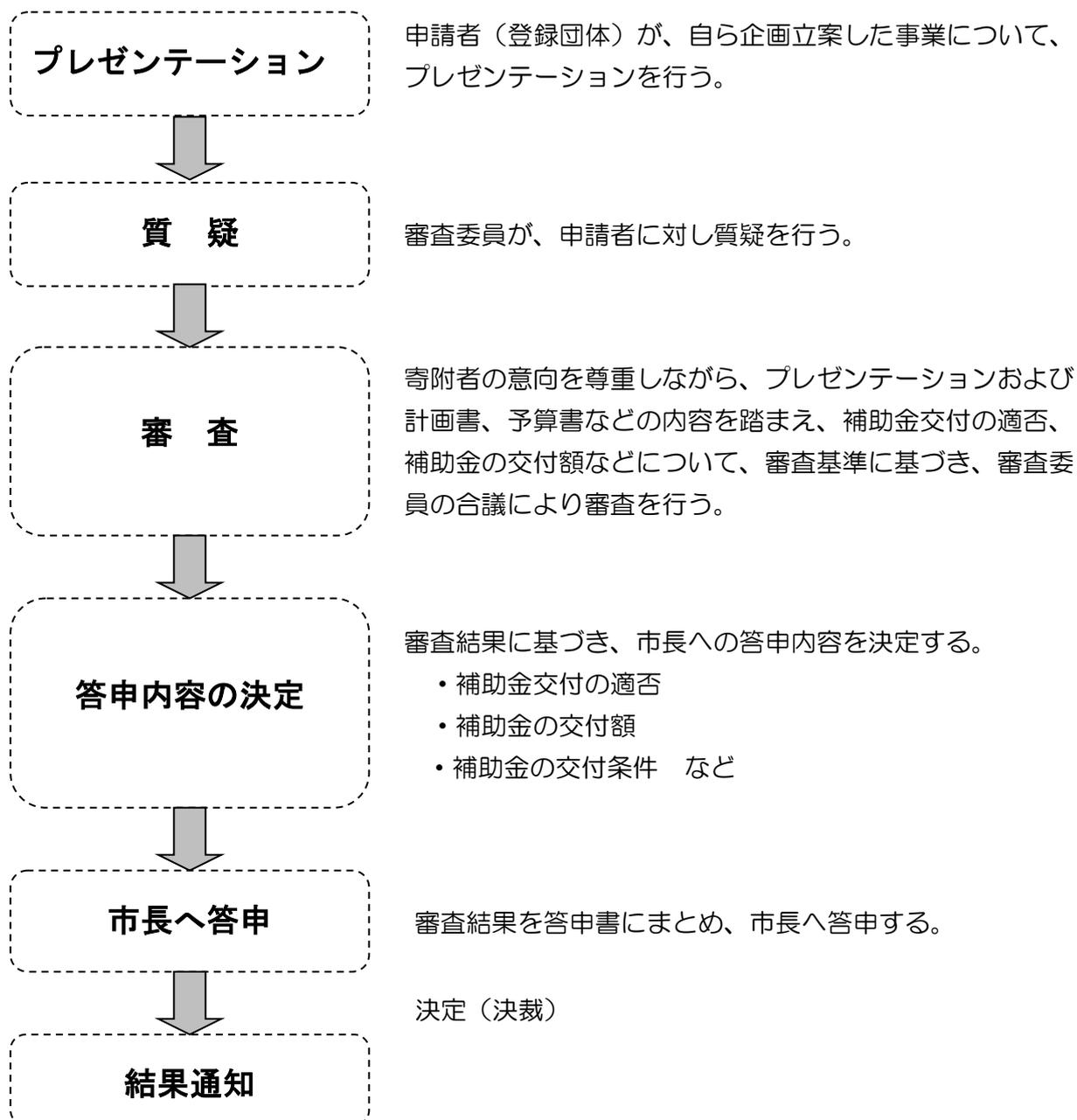
（1）枚方市NPO活動応援基金による補助事業の審査について

（2）その他

3. 閉 会

NPO活動応援基金補助事業 審査の流れ

審査会は、NPO活動応援基金補助事業補助金の交付の適否、補助金の交付額などについて審査し、その結果を市長に答申する。審査にあたり審査会は、寄付者の希望を尊重し、申請者より提出された事業計画書および収支予算書、申請者による説明・意見（プレゼンテーション）などに基づいて、調査審議し、審査委員の合議によりその適否および妥当性を判断する。



○補助対象事業

枚方市内を中心に行う特定非営利活動促進法に基づく特定非営利活動に係る事業で、次の要件をすべて満たす事業が補助対象事業となる。

- ① 主たる効果が枚方市内で生じる公益的な事業、または、主に枚方市民を対象とした事業であること。
- ② 補助金の交付を受けようとする年度内に実施及び完了する事業であること。
- ③ 特定の個人または団体の利益となる事業でないこと。
- ④ 営利活動、政治活動、選挙活動または宗教活動を目的とした事業でないこと。
- ⑤ 枚方市及びその関係機関から他の補助等を受けている、または、受けることが決定している事業でないこと。
- ⑥ 介護保険等の公的制度による給付の対象となる事業でないこと。
- ⑦ 登録団体内の親睦やレクリエーションを主な目的とした事業でないこと。

○補助対象経費

補助金の交付の対象となる補助対象経費は、補助対象事業に要する人件費、印刷製本費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、備品購入費（注1）、負担金、賃借料等です。団体の運営に係る経常的な経費（注2）及び団体の構成員の会合に係る経費、補助対象と認められた事業実施期間外の支出経費、食糧費については、対象とならない。

注1…備品購入費については、あらかじめ上限額を設けないが、事業審査において妥当性を審査する。

注2…団体の運営に係る経常的な経費とは、（家賃、修繕料、光熱水費、インターネット接続料、電話回線使用料、団体内部で使用する備品・文具類・書籍の購入等）及び法人の経常的な運営に係る人件費（法人職員の給与、法人運営における事務担当者の人件費等）を指す。ただし、対象事業実施に係る人件費については対象とする。その場合は、対象事業に係ることを証する書類の提出を必須とする。

○審査基準について

I. 公益性、II. 計画性、III. 自立性、IV. 発展性、V. 情報発信性の5項目における13の具体的項目について、それぞれの配点を3点とし、その範囲内で採点し、合計点により審査する。

採点の上位の団体から補助対象とし、その補助対象の補助金累計額が寄附積立額を超えない範囲で補助するものとする。

※ 具体的な審査基準の項目については、採点表を参照のこと

第4回枚方市NPO活動応援基金支援審査会 タイムスケジュール

	開始	終了	内容・団体名	プレゼン	質疑応答
	13:00	13:30	事前調整	30分	
1	13:30	13:45	ハーモニークラブ	5分以内	10分程度
2	13:50	14:05	えほんのお部屋ひまわり畑		
3	14:10	14:25	関西生活文化研究会おでかけ		
4	14:30	14:45	コーチズ大阪		
	14:45	15:00	休憩(15分間)		
5	15:00	15:15	エンパワセツルメント		
6	15:20	15:35	大阪視覚障害ゴルフアーズ協会		
7	15:40	15:55	ふれあいネットひらかた		
8	16:00	16:15	つばさの会大阪		
	16:15	16:30	休憩(15分間)		
	16:30	18:30	事業審査	120分(予定)	

補助金交付申請状況

- ・令和2年度の補助事業として、登録団体13団体のうち8団体から申請がありました。寄附積立額及び各団体からの申請額は、下表のとおりです。
- ・補助可能額202万8,690円に対して、各団体からの申請額が上回り、全団体の申請額(215万7,421円)を全額補助した場合、一般寄附不足額が12万8,731円となります。

◆寄附積立額

寄附種類		補助可能額
一般寄附		1,445,269
活動分野希望寄附	1 保健・医療・福祉	20,000
	2 学術・文化・芸術	30,000
	6 子ども・男女共同参画	30,000
団体希望寄附	ハーモニークラブ	20,000
	ふれあいネットひらかた	20,000
	つばさの会大阪	463,421
		2,028,690

◆各団体からの申請額

団体名	活動分野	申請額	団体希望寄附	活動分野希望寄附	一般寄附
ハーモニークラブ	2 学術・文化・芸術	60,000	20,000		1,574,000
えほんのお部屋ひまわり畑	6 子ども・男女共同参画	300,000	0	保健・医療・福祉 (20,000円)	
関西生活文化研究会おでかけ	1 保健・医療・福祉	300,000	0	学術・文化・芸術 (30,000円)	
コーチズ大阪	1 保健・医療・福祉	300,000	0	子ども・男女共同参画 (30,000円)	
エンパワセツルメント	1 保健・医療・福祉	134,000	0		
大阪視覚障害ゴルフアーズ協会	2 学術・文化・芸術	300,000	0		
ふれあいネットひらかた	6 子ども・男女共同参画	300,000	20,000		
つばさの会大阪	7 その他	463,421	463,421		
合計		2,157,421	503,421	80,000	1,574,000

一般寄附不足額 ▲ 128,731

過去の申請実績・事業内容・講評内容

資料④

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
1	ハーモニック ラブ	<p>名称：えほんライブ事業</p> <p>内容：保育園の地域開放日等のイベントにおいて無料でえほんライブを上演する。</p>	申請なし	申請なし	申請なし
2	えほんのお部 屋ひまわり畑	<p>名称：放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業</p> <p>内容：地域の児童の放課後の居場所を運営する。</p>	申請なし	申請なし	申請なし

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
3	関西生活文化研究会 おでかけ	名称： 要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業	名称： 福祉有償運送利用拡大事業	名称： 福祉有償運送事業の強化	申請なし
		内容： 余暇活動のための外出支援事業の利用希望者と支援者のマッチングを行い、支援者に対して報酬を支払う。また事業のPRを行う。	内容： 福祉有償運送事業のための車両等の設備と人員を募集、PR等を行う。	内容： 法人及び実施している福祉有償運送事業のPRを行う。	
			補助○ 交付341千円／申請421千円	補助× 交付0円／申請1,300千円	
			講評： 今後の事業の発展を期待し、車両リース料のみ認める。今回の補助金を活用し、利用者を拡大する努力をするなど、自立した運営に向けて計画的に進めること。	講評： 福祉有償運送サービス自体は、公益性があり、必要な取り組みであると評価するが、今回の事業内容は、計画性が乏しく、継続性が見込みにくい。 広報等について、効果が上がる手法を検討した上で、次年度以降に再考いただきたい。 団体希望寄附の30,000円については、来年度に繰り越すものとする。	

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
4	コーチズ大阪	名称： フレイル予防プログラムの普及事業	名称： 地域高齢者に対する認知症予防プログラムの実施事業	名称： 認知症予防メソッドの普及事業	名称： 認知症予防メソッドの普及事業
		内容： フレイル（加齢による心身活動の低下）の予防講座を開催する。	内容： 認知症の予防講座を開催する。	内容： 認知症の予防講座を開催する。	内容： 認知症の予防講座を開催する。
			補助○ 交付367千円／申請610千円	補助○ 交付807千円／申請807千円	補助○ 交付300千円／申請300千円
			講評： 全体における寄附額の減少などを踏まえ、計画に記載がある3会場のうち、2会場に係る経費を補助する。郵送代、消耗品及び資料代（テキスト）は、団体に負担すること。 事業を実施して得た分析結果については、団体のホームページに掲載する等、市民等へ公開し、公益性を担保していただきたい。	講評： 事業内容自体は評価できるが、参加者拡大のための広報の手法について見直すとともに、今後、団体自らが行う手法を構築していくこと。各会場20名の参加者の確保に努めること。	講評： 非常に公益性の高い事業である。今回の事業にとどまらず認知症予防としてのモデル講座事業を広げることにより、多くのデータを複数年蓄積し、シナプソロジーの効果検証結果を説得力のあるものにしてほしい。さらに、そのノウハウを他団体にも提供し普及させてほしい。

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
5	エンパワ セツルメント	<p>名称：移動困難者の社会参画を支援する為の福祉有償運送の発展事業</p> <p>内容：当法人が実施する福祉有償運送の利用者及び支援者を募るためにチラシを配布しPRする。</p>	<p>名称：制度外支援普及事業</p> <p>内容：当法人が実施する制度外支援のチラシを配布しPRする。</p> <p>補助× 交付0千円／申請200千円</p> <p>講評：制度外支援という事業の着眼点について公益性があり評価できる。支援内容も公益性を認めるが、事業実施における人員体制など団体の運営面に課題があると思われる。今後は、地域、公的機関等とさらに幅広く連携して、団体の基盤を強化し、社会的信頼を高めるよう期待する。</p>	申請なし	申請なし

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
6	大阪視覚障害 ゴルファーズ 協会	名称： OBG練習ラウンド ブラインドゴルファー競技大会 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会	名称： OBG練習ラウンド ブラインドゴルファー競技大会 大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会及び OBG大正練習会	名称： OBG練習ラウンド ブラインドゴルファー競技大会 大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会及び OBG大正練習会	名称： OBG練習ラウンド 第13回ブラインドゴルファー競技大会 第13回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会
		内容： 視覚障害者ゴルフの練習ラウンド・大会等を開催する。	内容： 視覚障害者ゴルフの練習ラウンド・大会等を開催する。	内容： 視覚障害者ゴルフの練習ラウンド・大会等を開催する。	内容： 視覚障害者ゴルフの練習ラウンド・大会等を開催する。
		補助○ 交付251千円／申請360千円	補助○ 交付360千円／申請700千円	補助○ 交付360千円／申請360千円	
		講評： 乗用カート代及び他県参加者交通費については、昨年度と同様、補助対象から除く。 また、事業の発展性に欠けていること、全体における寄附額の減少等を踏まえ、今回は、大会や練習における交通費のみ補助対象とする（1,000円未満切り捨て）。 今後については、団体自ら財源確保し、運営できる仕組みづくりを検討すること。	講評： 前回申請時に、団体の事業目的である「視覚障害者の自立、社会参加、QOLの向上に寄与する」ことを目指すよう講評したが、具体化されておらず、発展性が乏しい。 今後は、参加者のみに利益がある事業にとどまらず、活動の幅を広げるとともに、団体自らで経営できる仕組みづくりを検討すること。 乗用カート代及び他県参加者交通費を除く費用のうち、360,000円を補助する。	講評： 地道に事業を継続しており、持続性は高く評価できる。ゴルフはあくまでも手法であり、発展性を高めるために、事業目的である「視覚障害者の自立、社会参加、QOLの向上に寄与する」ことを具体的に事業化することで、めざす地域共生社会づくりに貢献してほしい。	

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
7	ふれあい ネット ひらかた	名称： ママなび舎～保育付き ママの学び舎～	名称： ママなび舎～保育付きママの 学び舎～	名称： ママなび舎～お母さん学ワー クショップ de おしゃべりカフェ～	名称： お母さん学ワークショップ de おしゃべりcafé
		内容： 保育付きの「子育てに 役立つ各種講座」を開催す る。	内容： 保育付きの「子育てに役立つ 各種講座」を開催する。	内容： 保育付きの「子育てに役立つ 各種講座」を開催する。	内容： 保育付きの「子育てに役立つ 各種講座」を開催する。
			補助○ 交付194千円／申請420千円	補助○ 交付480千円／申請480千円	補助○ 交付230千円／申請230千円
			講評： 参加者数に対してスタッフの 数が多く、人件費が高いと思われる ため、人件費については、415,000 円のうち207,500円を補助対象とす る。役務費、備品購入費及び消耗品 費を補助対象外とし、補助対象額 504,900円から参加費収入310,000 円を除き、194,000円（1,000円未 満切り捨て）を補助する。	講評： 受講者へのアンケートに基づ き、講座回数の見直しを行うなど、 事業の持続性は見られた。今回は、 全額補助するが、今後は、事業にお ける実参加実人数を把握する等、事 業の効果を検証し、より公益性、発 展性のある事業として、その拡大に 努めること。	講評： 事業の目的や実施計画が具体 的でわかりやすい点は評価できる。 しかしながらその計画にやや余裕が なく、目的が達成できるか現時点で は疑問も残る。参加者や支援者等の 人数集計をしっかりと行い、報告して ほしい。また、受講したママさんの 変化などもしっかり調査・分析し今 後の事業に活かしてほしい。さら に、PDCAを繰り返し、常に事業の 改善を目指してほしい。

No	団体名	R 1 (今年度)	H 30	H 29	H 28
8	つばさの会大阪	名称： ひきこもりの若者活性化事業	名称： ひきこもりの若者活性化事業	名称： ひきこもりの若者活性化事業	名称： ひきこもりの若者活性化事業
		内容： ひきこもり当事者とその家族のための相談会や個別訪問、居場所づくり等を実施する。	内容： ひきこもり当事者とその家族のための相談会や個別訪問、居場所づくり等を実施する。	内容： ひきこもり当事者とその家族のための相談会や個別訪問、居場所づくり等を実施する。	内容： ひきこもり当事者とその家族のための相談会や個別訪問、居場所づくり等を実施する。
		補助○ 交付1,553千円／申請1,553千円	補助○ 交付1,553千円／申請1,553千円	補助○ 交付795千円／申請1,262千円	補助○ 交付936千円／申請1,086千円
		講評： 全国大会参加費及び備品購入費は、補助対象外とするが、団体希望寄附を活用して、団体自ら財源確保に努めていることを評価し、その他費用を補助する。 居場所会場費については、ひきこもりの若者を支援するため居場所を設けることに意義があることから、継続のための取り組みを期待して補助対象とするが、ひきこもりの若者が参加しやすいよう情報収集や広報活動などに努めること。	講評： 全国大会参加費及び備品購入費は、補助対象外とするが、団体希望寄附を活用して、団体自ら財源確保に努めていることを評価し、その他費用を補助する。 居場所会場費については、ひきこもりの若者を支援するため居場所を設けることに意義があることから、継続のための取り組みを期待して補助対象とするが、ひきこもりの若者が参加しやすいよう情報収集や広報活動などに努めること。	講評： 昨年度に引き続き、発展性に欠ける。 他団体交流費は、補助対象外とする。居場所会場費については、ひきこもりの若者を支援するため居場所を設けることに意義があることから、継続のための取り組みを期待して、今年度は補助対象とするが、ひきこもりの若者が参加しやすいよう情報収集や広報活動等に努めること。引き続き利用が見込まれない場合、次年度は補助対象としない。 市への寄附（団体希望寄附）ではなく、直接、団体に対して寄附をもらうこと等についても検討し、団体の事業を自立させていただきたい。	講評： 続性は高く評価できるが、事業計画書の計画性が乏しい。 また事業内容に発展性がなく慢性化している。組織の活性化も図られていない。ここ数年の当審査委員の講評（下記）を実行してほしい。 「スタッフがほぼ支援対象者の親のみで構成されているが、今後は寄付者やひきこもり経験者を支援者・スタッフにするなど、団体の若返りと体制強化に努めてほしい」「様々な団体や個人、地域コミュニティ等とのネットワークを広げ、連携や情報交換を進めることにより、事業の拡充に努めてほしい」



2020年 2月 28日

枚方市長

団体名 特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた
主たる事務所 〒573-0157
の所在地 大阪府枚方市藤阪元町3丁目36-32
代表者氏名 林 明子
担当者氏名

連絡先

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

ママなび舎～保育付きママの学び舎～

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等
別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 300,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

※ 担当者名簿

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた
事業名称	ママなび舎～保育付きママの学び舎～
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日
1. 目的	<p>近年は核家族化が進行し、親等の親族から物理的に離れたところで、妊娠・出産・子育てする家庭が増加してきています。(人口減少にも関わらず世帯数が増加している)</p> <p>さらに、親と子の関係に様々な事情を抱え、親を頼れない妊産婦や子育て中の方が少なからずいます。さらに働く女性が増加している現在では、家事・子育て・仕事の過重負担が問題になりつつあります。子育て中のお母さんが妊娠・出産・子育てに関し、生活圏内で様々なサポートを受けられる体制を構築することが必要です。</p> <p>昨年、「産後ケア事業」の実施を各市町村の努力義務とする改正母子保健法が成立しました。まさに、子育てに関するサポートの重要性が社会的課題として浮かび上がってきている証左であり、行政だけではなく、民間含め多様な主体が参画するまちづくりが、これから求められてきます。</p> <p>本事業は、女性のライフステージの転換期である産前産後・子育ての時期を、新しい人間関係や家族との関わり、地域の人々との出会いを作っていく大事な時期として捉え、保育付きによる一時的な休息(レスパイトケア)と、様々な学びの機会(リカレント教育)を提供することで、自信をもって親として生きる力を育むことを目的とします。</p>
2. 事業内容等	<p>【①対象者】 枚方市内在住の妊娠中、子育て中の方</p> <p>【②実施場所】 枚方市内の公共施設、当団体事務所(サブリ村野内)</p> <p>【③事業内容】 子育て中の不安を解消し、自信をもって親として生きる力を育むことを目的として、保育付き学びの場を提供します。</p> <p>月に1回、子育てに役立つ食育・知育・健康・防災の分野を中心に年間講座を開催します。 (期待される効果)</p> <p>本事業に関わる全ての方にとって地域や社会参画の機会を得ると同時に、産前産後ケアに関わるきっかけを得ることになります。子育てや人生の先輩としての責任感や他者への貢献する喜びを感じ、ひいては更なる社会的な活動や、活動を通しての学びやキャリアを獲得していく機会を得ることになります。本事業が一人でも多くの母子支援につながるよう、さらなる深化に取り組んでまいります。</p> <p>(参加費用について)</p> <p>本事業の参加費は、講座の自主運営を図る観点から、参加費1800円/月(受講料¥1000 教材費¥500 保育負担金¥300)とします。より多くの母子参加を促す目的から、当日のお子さんの体調不良などによるキャンセル料金は発生させないものとします。保育を希望される方について、大人の方だけで参加される方との負担整合を図るため、1人につき300円をいただきます。</p>

	年月日	活動内容
3. 実施スケジュール	2020年4月	チラシ作成・会場手配
		第1回スタッフ会議（顔合わせ・募集など）
	2020年5月	①食育：とりわけ乳幼児食講座
	2020年6月	②知育：子どもの発達と絵本
	2020年7月	③健康：子育てに役立つメディカルアロマ講座
		第2回スタッフ会議
	2020年8月	④食育：親子クッキング教室
	2020年9月	⑤防災：子どもを守る防災講座1
	2020年10月	⑥健康：子どもの病気ホームケア講座
		第3回スタッフ会議
	2020年11月	⑦食育：Xmas おもてなし料理、又はおせち料理教室
	2020年12月	⑧知育：季節の手仕事講座
	2021年1月	⑨防災：子どもを守る防災講座2
	第4回スタッフ会議	
2021年2月	⑩食育：はじめてのお味噌作り講座	
2021年3月	まとめの会	
4. 事業実施の体制	<p>（事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。）</p> <p>（体制）</p> <p>有償スタッフ 11名</p> <p>事業統括責任者：1名（広報・渉外担当）</p> <p>運営スタッフ：保育士1名、助産師1名、保育アシスタント7名、事務担当1名</p> <p>ボランティア随時募集（保育・運営全般）</p> <p>講師：各講座1名（外部の専門職。又は、助産師・保育士・栄養士などの法人正会員。）</p> <p>保育においては、より安心安全な保育環境整備のため、申込保育人数 1.5～2 人に対し保育スタッフ1名を配置する予定です。保育スタッフを確実に確保するために、有償スタッフによる編成を中心とします。</p> <p>*必要時において不安や悩みなどの個別相談、各専門機関との連携がとれるよう、また根拠のしっかりした情報に触れることができるよう、スタッフは主に専門職で構成します。</p>	
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	<p>当法人は、子育て中の会員や孫をもつ会員をはじめ、保育士、助産師、看護師、栄養士、キャリアコンサルタントなど様々な資格をもった会員を中心に構成されており、本事業でのサポート体制に厚みを持たせています。スタッフを継続的に確保していくために、団体内でも常に呼びかけを行っています。母体となっている NPO 法人は 100 名を超える正会員と一般会員で成り立っており、年会費で運営を行っています。</p>	
6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み	<p>本申請事業は 2017 年度より取り組んでおり、毎年累計で 100 名を超える参加者数でこれまでに多くの方の学びの場を創出してまいりました。</p> <p>2019 年度は参加者が 1 年間を通して『母親として学んでいただきたいこと』をメインテーマに取り組み、また新たな取り組みとして枚方市内で食育活動に関わる地域人材と連携して講座を実施、子育て中の親と地域を結びつける機会を提供しました。また、本年度より参加者には当団体への入会をお願いし、多くが会員となっていました。参加者の大半に入会いただいたことで、各自が会員としてのつながりや仲間意識を育むことにつながり、1 年間通しての参加につながりました。</p>	

以上の結果から、保育年齢は0歳から1歳が多く、2歳児は少ないことが読み取れます。これは親が育休中に参加し、子が2歳となるタイミングで仕事復帰し参加できないのではないかと予測します。3歳以上の子どもは、講座の内容により保育対象とはならず、親と一緒に参加し共に学ぶ傾向が見て取れます。

本事業に参加した期待においては、以下のとおりです。

2019年度参加者アンケート結果より（2020年2月22日現在 126通より）

ママなび舎に参加した期待	回答数
講座のテーマ	111
一時的に預けられる保育サポート	76
自分自身の時間を持ちリフレッシュできる	69
子育ての不安や悩みを気軽におしゃべりできる場	35
子育てに役立つ学びを深めたい	34
相談できる専門家や先輩ママがいる	29
その他	1

以上のアンケート結果から、講座テーマの重要性をはじめ、保育付きによるリフレッシュや休息が大きく期待されていることが読み取れます。

また、学びを深めたいと同時に、不安や悩みを気軽に話せる場、相談できる場も同等に期待されていることがわかります。

様式第5号/枚方市NPO活動応援基金 **事業収支予算書**

団体名： 特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた

補助対象事業の名称：	ママなび舎～保育付きママの学び舎～
------------	-------------------

事業実施期間：2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野) (A)	280,000	補助金交付申請額 (一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	20,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金 (会員参加費)	316,800	参加費 ¥1800 (受講料 ¥1000 教材費 ¥500 保育負担金 ¥300) × 16人 × 11回
自己資金	20,000	
合計 (C)	636,800	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明 (積算根拠等)
補助対象経費	人件費	418,000 保育士 ¥4000*1人*11回=44000 助産師 ¥4000*1人*11回=44000 保育アシスタント ¥2500*7人*11回=192500 会計事務 ¥2500*1人*11回=27500 運営 (広報・渉外) ¥10000*1人*11回=110000
	講師料	50,000 当日講師謝金 ¥5000*1人*10回
	旅費交通費	0
	印刷製本費	40,000 デザイン料・印刷費 ¥30000 紙代 ¥5000 印刷代 ¥5000
	消耗品費	12,000 保育エプロン ¥700/1枚 × 10人 = 7000 衛生用品 (おしりふき・ティッシュペーパー・袋等) ¥3000 事務用品 (名札・ボールペン・マーカー・画用紙等) ¥2000
	備品購入費	10,100 ソフト積み木 (26個入り) ¥3000 サイレン救急車 ¥2500 ボーンレントマグネットベーシックセット ¥4600
	賃借料	18,700 生涯学習市民センター和室 (800+料理室900/月) *11回
	材料費	88,000 教材・食材購入 ¥500*16人*11回
小計 (E)	636,800	
補助対象外経費		
	小計	0
合計 (D)	636,800	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。

枚方市補助金 枚方市補助金(一般・活動分野) (A) は 補助対象事業費 (E) から枚方市補助金(団体希望寄附) (B) を差し引いた金額の1/2 以内 (千円未満切り捨て) として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野) (A) と枚方市補助金(団体希望寄附) (B) を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



2020年 2月 25日

枚方市長

団体名 NPO法人ハーモニッククラブ
主たる事務所 〒573-0031
の所在地 大阪府枚方市岡本町7-1
代表者氏名
担当者氏名

井上 千晴

連絡先 TEL
FAX
E-mail

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

えほんライブ事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 60,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	NPO 法人ハーモニークラブ
事 業 名 称	えほんライブ事業
事 業 実 施 期 間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。 令和2年 4月 1日 ～ 3年 3月 31日
1. 目 的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) 幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎となり、子どもが「ありのままに生きることができる自己肯定感」を、家庭や集団生活の中で身につけられるような関わりが大切です。 えほんライブは、個性の多様性を受け入れ、それぞれの個性を活かして協力し合う大切さをテーマにした物語で、歌と朗読と音楽、映像など五感を使って楽しむ作品です。 子どもだけでなく親や保育に携わる人、地域の人々も一緒に「子どもも大人もありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてみようことを目的としています。
2. 事業内容等	【①対象者】 保育園の園児及び保護者、地域の子どもたちを含め、保育園の地域開放やイベント日に参加した人 【②実施場所】 枚方市内の保育園 【③事業内容】 保育園の地域開放イベントを行う日に、えほんライブを出張上演します。 ・ 上演内容は、オリジナル作品「イートンと森のどうぶつたち」を上演後、みんなで歌える歌や手遊びで交流を図る。 ・ 上演時間は、約30分。 (えほんライブについて) 絵本の世界と音楽の世界が一体となった作品で、朗読と歌と音楽、映像など五感を通した体験型ライブです。 効果としては「想像力を育み、物語の展開や明るい音楽によって、前向きになり勇気や力が湧く。」「言葉にして伝えられない子どものモヤモヤした気持ちが、えほんライブを通して共感し発散でき、自分の気持ちに気づいてスッキリする。」などがあります。

事業収支予算書

団体名：NPO法人ハーモニッククラブ

補助対象事業の名称：	えほんライブ事業
------------	----------

事業実施期間： 令和2年 4月～ 令和3年 3月

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野) (A)	40,000	補助金交付申請額 (一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	20,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	40,920	
合計 (C)	100,920	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	人件費	40,000	出演者@1,000×4H×2人、リハーサル@1,000×4H×2人、保育園打合せ@1,000×2H×4人、文書作成作業@1,000×4H×2人、発送作業@1,000×2H×4人
	印刷製本費	13,320	リーフレットデザイン料10,000円、印刷代2,320円、案内状コピー代@10×100部
	会議費	7,000	リハーサル練習(指導含む部屋代)7,000円×1日
	旅費交通費	28,000	広報活動交通費@1,000×12回、文書作成・発送作業@1,000×8人、保育園打合せ@1,000×4人、出演当日及びリハーサル@1,000×2人×2回
	通信運搬費	9,400	ダイレクトメール郵送料@94×100通
	消耗品費	2,200	封筒@110×10袋、演出用飾り@110×10
	雑費	1,000	上演著作料
小計 (E)	100,920		
補助対象外経費			
	小計	0	
合計 (D)	100,920		

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



令和 2 年 2 月 26 日

枚方市長

団体名 株式会社 大阪府教育会
 主たる事務所の所在地 〒573-0027 大阪府枚方市大田町1-3-1 マイビル4F
 代表者氏名 馬場 裕子
 担当者氏名 [Redacted]
 連絡先 T [Redacted]
 F [Redacted]
 E [Redacted]

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

いそむりの若者 活性化事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書(様式第4号)」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 463,421 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書(様式第5号)」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 つばさの会 大阪</p>
<p>事業名称</p>	<p>ひきこもりの若者 生き生き化事業</p>
<p>事業実施期間</p>	<p>(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和2年4月/ 日 ~ 令和3年 3月 31日</p>
<p>1. 目的</p>	<p>(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) 現在わが国に100万を超えるひきこもりの人達があり、枚方市にも多数の該当者がいます。その該当者及び親御さんへ社会復帰のための方法を会得させることが目的である。</p>
<p>2. 事業内容等</p>	<p>【①対象者】 枚方に中心とした近畿圏内の若者及び家族</p> <p>【②実施場所】 親会はカプリ村野 一時利用室にて サポートはカプリ村野 グラウンドにて</p> <p>【③事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 親会にて個別の問題についてミーティングを実施 親会への課題解決のための個別のカウンセリング(年6回) 個別相談会(年6回) コミュニケーション講座 年2回 親会サポート(相談事業) ひきこもりの若者の自立を助けるための社会への参加促進活動 頻度(環境次第)枚方市一年4回 熟練支援者 年2回 家族会支援者 年10回 x 5H サポートの学習 年5回 x 1回 4時 枚方市カプリ村野グラウンド 2階一時利用室 ネットワーク会議 支援者と会員各に配布 年4回 4月に更新するホームページの作成と更新 ネットワーク会議の参加 ひきこもりの若者の親会の情報共有と連携の促進 支援者も会議に参加(年5回)
<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>9 熟練支援者による個別相談 希望する会員に対して(年2回)</p> <ol style="list-style-type: none"> 親会 4月から、個別相談は会員の希望に依り 年6回 親会サポートは4月から毎月12時から 計16回 コミュニケーション講座は4月から毎月1回 計5回 ひきこもりの若者に対するサポートは4月から4月まで 年4回 ホームページ更新は4月1日だけ ネットワーク会議は年15回 2時から4時 熟練支援者による個別相談(年2回)

<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <p>カウンセラー 1名 走劇観覧、カウンセリング、ヒスモリ当番者、家族の個別相談、会員の家庭訪問、コミュニケーション勉強会(見学者)</p> <p>ヒスモリ支援塾講師 1名 個別訪問、各種資料の送付(見学者)</p> <p>会員家族の支援者 1名 訪問サポート</p> <p>一般支援者 1名 スポーツ学習のサポート</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>子どもと保護者による寄り添い</p>
<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>走劇会と併行し、対話を模索してきた</p> <p>気候のよい時にヨガボールの学習を行った</p> <p>今後、当番者の家族や地域の少子化への学習会を行いたい</p>
<p>7. 今後の取り組み予定</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記載すること。)</p> <p>賛同者に参加してもらうと共に、保護者の負担への依頼を下げたい</p> <p>当番者を雇用し、少子企業があれば積極的に紹介したい</p>
<p>8. 事業のPR方法</p>	<p>インターネットによる広報が主であり、知人のチラシのパンフレット配布などでPRしたい</p>
<p>9. 申請事業に対する助成金や委託料の有無等</p>	<p>助成金等の有無 有 ・ 無</p> <p>助成金等の名称()</p> <p>内容 容 ()</p>
<p>10. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<p>ヒスモリは全国的に大きな問題とされており、本市においても多くの人が困難に直面しています。私達の活動により、数名が就業へとつながっており、今後も期待しています</p> <p>カウンセラー・見学者、塾講師等(山田孝明氏)見学者</p>

事業収支予算書

団体名: 特定非営利活動法人 7月30日大阪

補助対象事業の名称:	ふたごの若者生涯学習
------------	------------

事業実施期間: 2022年 4月 ~ 2023年 3月

【収入の部】

(単位: 円)

項目※1	予算額	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野)(A)		補助金交付申請額(一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体)(B)	462,421	補助金交付申請額(団体希望寄附)
自己資金	56,579	
会費収入	180,000	経費20万円 ^① 月経費10万円 10名×1,000円×12ヶ月
合計 (C)	750,000	

【支出の部】

(単位: 円)

項目	予算額	内容説明(積算根拠等)
補助対象経費	報償費	250,000 入会費 - 10万円 新会員の1/2, 個別研修他別紙参照
	"	120,000 経費20万円 10名×2万円 毎月1万円, 12ヶ月分 個別研修他別紙参照
	支援者奉仕費	90,000 10時間 900円 × 100時間 (10時間 500円 10名 × 500円)
	小計 (E)	460,000
補助対象外経費	通信費	50,000 郵送料
	旅費	50,000 上部団体への会費
	会議費	50,000 会議費等
	雑費	100,000 登記費用他
小計	230,000	
合計 (D)	690,000	

※1: 事業に係る収入はすべて記入してください。

※2: 収入の合計(C) = 支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金(一般・活動分野)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



2020年2月28日

枚方市長

団体名 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑
主たる事務所 〒573-0084
の所在地 枚方市香里ヶ丘12丁目6-28
代表者氏名 中谷章代
担当者氏名

連絡先 TEL
FAX
E-mail

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 300,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑
事 業 名 称	放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日
1. 目的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) 主に香里ヶ丘周辺の児童が、登録をすれば誰でも安心して過ごせる放課後の居場所をつくります。子どもが小学生に上がると、共働き世帯が増える傾向があります。子どもの慣れない学校生活を応援し、親の就労に寄り添い、働きやすい環境づくりを目的としています。
2. 事業内容等	【①対象者】主に近隣の小学校に在籍し、何らかの理由で放課後をひとりで過ごす理由のある児童 【②実施場所】 枚方市香里ヶ丘12丁目6-28 えほんのお部屋ひまわり畑 【③事業内容】 毎週月曜日から金曜日の15時～17時30分の2時間30分 「放課後クラブあおむし」として登録を済ませた児童を、受け入れします。子どもは、宿題をしたり、絵本を読んだり、子ども同士やボランティアとボードゲームをしたり自由に過ごします。 この事業は2017年週1回から開始し、2018年は週5日開室、2019年には利用も広がり、4月から共働きを始める家庭の問い合わせが多く、週に2日や3日、親の帰宅を待つ児童の利用が続いています。2020年度も増加していくと思われ、この居場所の必要性を感じています。
3. 実施スケジュール	2020年4月1日～2021年3月31日までの毎週月曜日～金曜日の5日間 (長期休み・祝日。年末年始をお盆休みを除く) 放課後から17時半まで 小学生の放課後の見守りをします。 宿題の後は、アナログゲームや工作をして過ごします。出入り自由なので、親の承諾を貰っている子は外で遊んだり、塾に出かけたりします。 春休みや夏休み等の長期休みは10時半から17時半までの受け入れをします。 4月春休み・12月冬休みには。おもちゃコーディネーターと、アナログゲームの体験会を開催、7・8月夏休みにはおやつ作りや夏祭りを企画開催します。 季節の行事や、夏祭りなど、地域のボランティアとイベントを開催します。 長期休み以外の平日は、ボランティア2名と開室します。

事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

補助対象事業の名称：	放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業
------------	-----------------------------

事業実施期間： 2020年 4 月～ 2021年 3 月

【収入の部】

(単位：円)

項 目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野) (A)	300,000	補助金交付申請額 (一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	0	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
参加者年会費	165,000	参加者年会費5,000円×15人・月会費500円×15人×12か月
自己資金	165,000	残りは団体運営費より支出 (165,000円)
合 計 (C)	630,000	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予算額	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	ボランティア謝金	600,000	1日2.5時間×5日×4週間×12か月×2名×500円
	印刷製本費	12,000	月1000円×12回 (紙代・インク代)
	消耗品費	18,000	参加者1人100円×12か月×15人 (折り紙等文房具)
小 計 (E)	630,000		
補助対象外経費			
小 計	0		
合 計 (D)	630,000		

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



2020年 2月 25日

枚方市長

団体名 特定非営利活動法人コーチズ大阪
主たる事務所 〒573+-0127
の所在地 枚方市津田元町三丁目30番16号
代表者氏名 木村 文江
担当者氏名 [Redacted]
TEL [Redacted]
連絡先 FAX [Redacted]
E-mail [Redacted]

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

フレイル予防プログラムの普及事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等
別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 300,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人コーチズ大阪
事 業 名 称	フレイル予防プログラムの普及事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2020年6月1日～2021年3月31日
1. 目的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) 超高齢社会を迎え、健康上の問題で制限されることなく日常生活を送る事のできる期間「健康寿命」をいかに伸ばすかが課題となっています。問題の鍵として注目されているのが、加齢によって心身の活動が低下した状態を意味する「フレイル」という概念です。さらに最近では、口腔機能の軽微な概念に着目した「オーラルフレイル」という新たな概念も構築されています。 本事業でフレイル予防プログラムを実施することにより、枚方市民が、いつまでも要介護にならず、元気で居続けられるよう予防意識を高めて頂くことを一番の目的とします。
2. 事業内容等	【①対象者】 枚方市民 【②実施場所】 くずは生涯学習センター、輝きプラザきらら、サブリ村野 【③事業内容】 各会場定員15名、各会場10回(月2回程度)、同じ参加者で実施する。 参加費は有料で1回700円(評価回は無料) フレイル予防の3つの柱である、・運動(身体活動)・栄養(食、口腔機能)・社会参加を座学・実技により「フレイル予防講座」を実施する。 初回・最終回でフレイルの評価を行う。初回で現状把握、最終回で講座の各個人の効果判定を行う。評価は基本チェックテスト、体重管理(BMI測定)、握力、歩行速度(TUG)で行う。 フレイルの評価のデータは、本講座の評価で用いる。 ・運動—ガンバルーン体操・のびる体操 ・栄養—栄養改善 ・口腔機能—口腔ケア、高機能改善
3. 実施スケジュール	2020年 6月上旬 準備室立ち上げ 8月～9月 参加者募集開始・決定 10月～11月 「フレイル予防講座」開始(3会場) 2021年 ～3月 「フレイル予防講座」終了 3月 報告書作成

<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士、学習療法士等 1人 ・介護予防運動指導員、管理栄養士、シナプソロジーインストラクター 1人 ・ガンバルーン体操指導士、シナプソロジーインストラクター 1人 <p>各回2名体制</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>フレイル予防を通じた健康長寿の街づくりは東京大学飯島勝矢教授のノウハウで53市町村が取り組んでいる。エビデンスに裏付けされた素晴らしいノウハウである。このノウハウの実施可能部分を取り入れて「フレイル予防プログラム」を行っていききたい。</p>
<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>「フレイル予防」に特化した事業の取り組みは、今回が初めてである。しかし、今まで取り組んだ「認知症予防」もフレイル予防と重複した部分があり、視点を変えれば十分に参考になりえる。今まで培ったノウハウを活かしていききたい。</p>
<p>7. 今後の取り組み予定</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記載すること。)</p> <p>フレイル予防を通じた健康長寿の街づくりは東京大学飯島勝矢教授のノウハウで53市町村が取り組んでいる。今後、飯島教授のノウハウを取り組む市町村も増えると思う。従って「フレイル予防プログラム」をしっかりと構築して行政等のフレイル予防事業を行って参りたい。</p>
<p>8. 事業のPR方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市広報に掲載 ・枚方市各生涯学習センター等にチラシ配布 ・今までコーチズ大阪の講座参加者に告知
<p>9. 申請事業に対する助成金や委託料の有無等</p>	<p>助成金等の有無 有 ・ (無)</p> <p>助成金等の名称 ()</p> <p>内 容 { }</p>
<p>10. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<p>なし</p>

事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人コーチズ大阪

補助対象事業の名称：	フレイル予防プログラムの普及事業
------------	------------------

事業実施期間： 2020年 6 月～ 2021年 3 月

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野) (A)	300,000	補助金交付申請額 (一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	0	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	88,500	
参加費	252,000	700/回×8回×15人×3会場
合 計 (C)	640,500	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	インストラクター	600,000	10000/回×30回×2人
	会場費	15,500	700/回×5回、1200/回×10回
	資料代	12,500	250×50部
	小 計 (E)	628,000	
補助対象外経費	会場費	12,500	700/回×5回、900/回×10回、
	小 計	12,500	
合 計 (D)	640,500		

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野) (A)は 補助対象事業費 (E) から枚方市補助金(団体希望寄附) (B) を差し引いた金額の1/2以内 (千円未満切り捨て) として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野) (A)と枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



令和2年2月28日

枚方市長

団体名 特定非営利活動法人大阪視覚障害ゴルフアース
協会
〒573-1192
主たる事務所の所在地 枚方市西禁野二丁目28番16号
代表者氏名 橋本 富雄
担当者氏名
連絡先

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

- (1) OBG練習ラウンド (2) ブラインドゴルファー競技大会
(3) 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書(様式第4号)」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 300,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書(様式第5号)」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人大阪視覚障害ゴルフフェーズ協会（OBG）
事 業 名 称	(1) OBG練習ラウンド（年5回） (2) ブラインドゴルファー競技大会（年1回） (3) 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会（年1回）
1. 目的	（事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること） ゴルフを志す視覚障害者とボランティアパートナー（目の代わりをする晴眼者）が二人三脚でゴルフラウンドすることにより、相互の友情と信頼を深めつつ、視覚障害者に対する正しい理解を社会に広め、もって視覚障害者の自立、社会参加、QOL（生活の質）の向上に寄与する。
2. 事業内容等	(1) の事業 【①対象者】 ゴルフを志す視覚障害者とボランティアパートナー（目の代わりをする晴眼者） 【②実施場所】 くずはゴルフリンクス 枚方市楠葉花園町14番2号 【③事業内容】 ブラインドゴルファー（視覚障害者）とプレーパートナー（晴眼者）がペアとなり、1組3ペアで18ホールラウンドする。
	(2) の事業 【①対象者】 ゴルフを志す視覚障害者とボランティアパートナー（目の代わりをする晴眼者） 【②実施場所】 くずはゴルフリンクス 枚方市楠葉花園町14番2号 【③事業内容】 ブラインドゴルファー（視覚障害者）とプレーパートナー（晴眼者）がペアとなり、1組3ペアで18ホールラウンドする。日頃の成果（成績）を競い合う競技大会とする。成績優秀者に賞品を授与して今後の励みとする。
	(3) の事業 【①対象者】 ゴルフを志す視覚障害者とボランティアパートナー（目の代わりをする晴眼者）及び一般ゴルファー（晴眼者） 【②実施場所】 くずはゴルフリンクス 枚方市楠葉花園町14番2号

	<p>【③事業内容】</p> <p>1組2名の一般ゴルファー（晴眼者）と1ペア（ブラインドゴルファーとプレーパートナー）で18ホールラウンドする。全盲、弱視及び一般の3部門で成績を競い且つ親睦を図る。</p>
<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(1) OBG 練習ラウンド 4月、5月、9月、11月、3月</p> <p>(2) ブラインドゴルファー競技大会 6月</p> <p>(3) 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会 10月 *5カ月前より準備</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <p>(1) の事業 事務担当役員及びボランティア会員1回あたり22名程度で年間5回</p> <p>(2) の事業 事務担当役員及びボランティア会員26名程度</p> <p>(3) の事業 大会役員3名、大会実行委員10名及びボランティア30名程度</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>事業の拡大及び継続のために、定款に定める正会員、賛助会員（個人・法人）の増加に努める。更に、協賛企業の協力参加を求める努力をする。</p>
<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>本事業の後援をして頂いている、大阪府、枚方市、大阪府障がい者スポーツ協会、財団法人大阪府視覚障害者福祉協会、社会福祉法人日本ライトハウス及び毎日新聞社点字毎日との情報を密にしてより強力な支援（PR）を要請していく。（2019年度は、毎日新聞社点字毎日より取材を受け記事にしてもらった。読売新聞には事業の紹介及び大会参加募集の記事を掲載してもらった。今年度も更に他社への拡大を図っていきたい。</p>

事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人大阪視覚障害ゴルフフェーズ協会（OBG）

補助対象事業の名称：	(1) OBG練習ラウンド (2) ブラインドゴルファー競技大会 (3) 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会
------------	--

事業実施期間：2020年4月～2021年3月

【収入の部】

(単位：円)

項目※1	予算額	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野)(A)	300,000	補助金交付申請額(一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体)(B)	0	補助金交付申請額(団体希望寄附)
OBG練習ラウンド	115,500	参加費 1,100円×21人×5回
ブラインドゴルファー競技大会	26,400	参加費 1,100円×24人
大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会	600,000	参加会費 10,000円×60人
協力金	20,000	賛助企業1社
自己資金	90,600	
合計(C)	1,152,500	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明(積算根拠等)		
補助対象経費	(1) OBG練習ラウンド			
	旅費・日当	220,000	2,000円×22人×5回	
	(2) ブラインドゴルファー競技大会	旅費・日当	52,000	2,000円×26人
		賞品費	30,000	1位:8000円×2、2位:5,000円×2、3位:2,000円×2
		(3) 第16回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会		
	ゴルフプレー費	449,000	ラウンド費7,150円×40人、7,950円×20人 カート代2,000円×2台(マーシャル・取材用)	
	旅費・日当	56,000	2,000円×28人	
	大会参加賞費	63,000	食品 700円×90人	
	音響機器レンタル費	10,000	レンタル料一式 10,000円	
	その他費用	50,000	通信費15,000円、印刷費15,000円、事務用品費20,000円	
	小計(E)	930,000		
	補助対象外経費	(2) 競技大会表彰式費	35,000	(会食・会席費)700円×50人
		(3) 親睦ゴルフ大会費	府外招待者旅費交通費	120,000
軽食費			40,500	450円×90人
ゴルフ大会表彰式費		27,000	(会食・会席費)300円×90人	
小計		222,500		
合計(D)	1,152,500			

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。

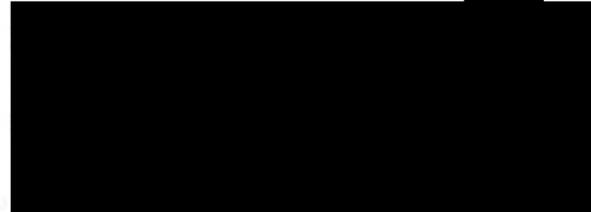
ただし枚方市補助金(一般・活動分野)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



2020年 2月27日

枚方市長

団体名 特定非営利活動法人エンパワセツルメント
主たる事務所 〒573-0022
の所在地 大阪府枚方市宮之阪1丁目16番地4号
代表者氏名 竹谷良二
担当者氏名
連絡先



枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

移動困難者の社会参画を支援する為の福祉有償運送の発展事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 _____ 円 134000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人エンパワセツルメント
事 業 名 称	移動困難者の社会参画を支援する為の福祉有償運送の発展事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日
1. 目的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) 公共交通を利用する体力または経済力を持たず、買物、病院、娯楽へのアクセスに難を抱え、孤立する可能性のある人へ、気軽に使える福祉有償運送を利用して貰い、社会参画の機会を提供する。
2. 事業内容等	<p>【①対象者】</p> <p>①買物難民に代表される移動困難者たる福祉有償運送を利用したい人。 ②福祉有償運送を提供したいと考える人。</p> <p>【②実施場所】</p> <p>枚方市内で、高齢等の理由から機械の苦手な層、経済的理由でパソコン・スマホを持たない層など、インターネット経由で情報が届きにくいと予測される地域。</p> <p>【③事業内容】</p> <p>①福祉有償運送の、支援を受けたいと考えてる人と、支援を提供したいと考えてる人へチラシを配布しての周知。 (高齢等の理由から機械を嫌う層、経済的理由でパソコン・スマホを持たない層など、インターネット経由で情報が届きにくいと予測される地域へ、紙媒体で情報を直接届ける為に、チラシを配布する)</p> <p>②福祉有償運送を提供する体制の整備。 1 ドライバーの募集 2 ドライバーの資格取得補助</p> <p>(付随して弊会が展開中である生活相談や居場所の提供も行う)</p>

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>04月 チラシデザイン(福祉有償運送利用者募集・福祉有償運送提供者募集・弊会紹介) 05月 チラシ配布 08月 運転協力者講習受講 09月 運送活動本格始動</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <p>I. チラシ配布</p> <p>(1)印刷 業者委託</p> <p>(2)配布 5名(弊会会員) 5名(弊会非会員協力者)</p> <p>II. 福祉有償運送提供体制整備</p> <p>(1)募集事業担当者 2名(弊会会員)</p> <p>(2)募集事業終了および福祉有償運送事業運営 [現在] 福祉有償運送提供者(運転者) 2名(弊会会員) 福祉有償運送利用者 4名(弊会会員のみ)</p> <p>運行実測値(平均値) (病院通院/週1回×3名) + (買物等随時利用/週2回×2名) × 4週 = 往復28回/月 合計28往復/月 ÷ 運転者2名 = 1運転者が1ヶ月に14往復運転/月</p> <p>[事業展開後] 福祉有償運送提供者(運転者) 7名(弊会会員) 福祉有償運送利用者 30名(弊会会員・非会員を含む希望者)</p> <p>運行予測値 (病院通院/週1回 + 街角デイケア等/週1回) × 30名 = 往復60回/月 (買物等随時利用/1名/日) × 20名 = 往復20回/月 合計80往復/月 ÷ 運転者7名 = 1運転者が1か月に約11往復運転/月</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>供給体制(ドライバー)が整うに従い、利用者も確保できるようになれば、福祉有償運送自体が活発化する。 又、福祉有償運送と並行して、弊会の既存事業である、福祉制度や権利擁護関係の相談支援、地域への啓発・調整を含め、生活全般の支援を行い、それらの拡大により社会的信用を拡大し、公的機関との(委託獲得を含む)連携を模索する。</p>
<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>前回の助成審査の中で、「地域や公的機関との連携強化により、社会的信用を得よう」助言を受け、弊会は、新たな取り組みとして、包括支援センターや市役所各課に出向き、相談や提案などを行った結果、制度の狭間領域において、制度外支援を展開する弊会とのつながりを得ることができなかったが、枚方市社協に相談をすると、弊会が展開している居場所事業について、運営方法などの助言があり、枚方市社協の助成金を活用して、居場所事業に係わる催しを展開することができた。 また、今後も、枚方市社協からの助言を得ながら、他機関との連携も模索し、地域のニーズに沿った事業の展開を目指していく予定である。</p>

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人エンパワセツルメント

補助対象事業の名称：	移動困難者の社会参画を支援する為の福祉有償運送の発展事業
------------	------------------------------

事業実施期間： 2020年 04月～ 2021年 3月

【収入の部】

(単位：円)

項目※1	予算額	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野)(A)	134,000	補助金交付申請額(一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体)(B)		補助金交付申請額(団体希望寄附)
自己資金	135,600	
合計(C)	269,600	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明(積算根拠等)
補助対象経費	チラシ印刷委託	46,200 印刷A4両面20000部 単価2.1円(税抜) 合計46,200円(税込)
	チラシ配布(人件費)	92,400 配布20000部 単価4.2円(税抜) 計92,400円(税込)
	負担金	131,000 運転協力者講習(講習+適正検査) 単価16,500円 受講5人 計82,500円 運転協力者講習交通費及び日当 単価((500*4)+(964*8H))=9700円 受講5人 計48,500円
小計(E)	269,600	
補助対象外経費		
小計	0	
合計(D)	269,600	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C) = 支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)



枚方市長

団体名 関西生活文化研究会おでかけ
主たる事務所 〒573-1111
の所在地 枚方市楠葉朝日1丁目21-8-202号
代表者氏名 藪内 充俊
担当者氏名
連絡先 TEL
FAX
E-mail

枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付申請書

枚方市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、下記のとおりNPO活動応援基金補助事業補助金の交付を申請します。

記

1. 補助対象事業の名称

要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業

2. 補助対象事業の目的、内容、効果及び公益性等

別紙「事業計画書（様式第4号）」のとおり

3. 補助金交付申請額及びその内訳

金 300,000 円

※内訳については、別紙「事業収支予算書（様式第5号）」のとおり

4. 添付資料

その他参考となる書類

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ
事 業 名 称	要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日
1. 目的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること) この事業は、要介護認定を受けていて車椅子移動が必要な高齢者に対して、介護保険の給付が受けられない余暇活動のための外出を支援することで、身体的・金銭的な負担で閉じこもりがちな方の外出ニーズに応えるとともに、地域社会において車椅子移動者の受け入れを促進し、それらによって人にやさしい環境の整備を促し、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。
2. 事業内容等	【①対象者】 枚方市内に住む要介護4、5の認定を受けている、屋外移動に車椅子が必要な方。またはそれに準じた車椅子移動が必要な方。 【②実施場所】 枚方市内 【③事業内容】 車椅子移動が必要な要介護高齢者の個別具体的な困難さを、電話での聞き取り調査や訪問調査等を通じて確認する。その情報をもとに、車椅子対応車両を使用し、屋外移動に車椅子が必要な方の外出を支援する。また、当事者が希望する外出先の目的地において、車椅子移動者の受け入れがなされるよう連絡調整や確認を行う。 支援者として、福祉有償運送の有資格者で車椅子移動の介助経験がある方を募集する。無資格や未経験で参加を希望する方に対しては、団体の登録スタッフが同行しともに支援を行うことで体験していただき、今後の資格取得を希望する場合の情報提供等を行う。
3. 実施スケジュール	4月 枚方市内の居宅介護支援事業所に事業の実施要項を郵送し、4月～9月の6か月間での利用希望者と支援者を募集する。また、これらについては公共施設への掲示等も併せて行う。 利用申し込みを順次受け付け、支援を実施する。年間上限150回を往復2回で75件分と想定し、1か月あたり6件程度を目途に支援を実施する。 9月 6か月間の利用実績を計算した上で、4月と同様に募集、掲示を行う。年間75件分に対して、残る件数分を1か月あたりに案分して実施する。 利用希望者・・・利用申し込みの受付→事前調査→日時等の調整→支援実施 支援希望者・・・支援者登録の受付→利用申し込みとのマッチング→支援実施

<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <p>有資格の支援者を募集してリストに登録し、利用希望者の行先や希望時間、支援内容等を確認して、マッチングする。仮に日時が合わないとしても、当団体が訪問介護事業と福祉有償運送を運営しており、その登録スタッフを活用する。</p> <p>また、利用される方の既往歴、心身の状況や介助の必要性の度合いについては、職員が面談や電話での聞き取りにより確認し、実際の支援にあたる登録スタッフに書面等で伝達できるよう準備する。</p> <p>無資格や未経験の参加者に対しては、体験を通じてその必要性や具体的な方法を知っていただくとともに、今後資格を取得しようという意欲を持てるように接することで、新たに支援者として参加していただけるよう促す。</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>福祉有償運送だけでなく、介護保険の訪問介護サービスを提供しており、これにより事業収入を補ってきた。また、介護保険の収入に頼りすぎるリスクを軽減するため、寄付金による経費負担を進めている。</p>
<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>当団体はこれまでも、移動に制約のある方に対する車両を使った外出支援を提供しており、特に介助が必要で付添者がいない方の場合には、介護保険制度を活用した支援を実施してきた。しかし、介護保険制度では余暇的な活動には給付費を使うことができないため、今回のような仕組みによって、いままで十分にできなかった支援にも取り組んでいきたい。</p>
<p>7. 今後の取り組み予定</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記載すること。)</p> <p>公的サービスによる保証のない今回のような外出ニーズは、当事者の諦め等によって隠れがちなため、それを顕在化し新たな制度設計のきっかけとしたい。</p> <p>また、無資格や未経験の方にも参加してもらうことで、車椅子移動者の外出ニーズについて理解を深めてもらい、併せて利用者や参加者の様子をパンフレットに載せて市民に広く紹介することで、新たな支援の担い手を生み出していきたい。</p>
<p>8. 事業のPR方法</p>	<p>ケアマネージャーの所属事業所すべてにパンフレットを送付することで、必要な方に事業をPRすることができる。また、普段の外出支援に利用している車両にも表示することで、広く枚方市全域に事業をPRすることができる。</p> <p>併せてフェイスブック等のSNSも活用していきたい。</p>
<p>9. 申請事業に対する助成金や委託料の有無等</p>	<p>助成金等の有無 有 ・ 無</p> <p>助成金等の名称 ()</p> <p>内 容 { }</p>
<p>10. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	

事業収支予算書

団体名：関西生活文化研究会おでかけ

補助対象事業の名称：	要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業
------------	----------------------------

事業実施期間： 2020年 4月～ 2021年 3月

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般・活動分野) (A)	300,000	補助金交付申請額 (一般寄附・活動分野希望寄附)
枚方市補助金(団体) (B)		補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	316,100	
福祉有償運送利用料	45,000	2km未満で300円 (以降1kmごとに120円)
合計 (C)	661,100	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明 (積算根拠等)
補助対象経費	介助費	577,500 (事前調査1500+当日介助2150+マッチング200) × 150
	郵便代	33,600 84円 × 200事業所 × 2回
	印刷代	5,000 A 4 1000部
小計 (E)	616,100	
補助対象外経費	運転者への謝礼	22,500 移送の対価の半分
	移送の経費	22,500 燃料費、保険、駐車場代、リース料等
小計	45,000	
合計 (D)	661,100	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。

枚方市補助金枚方市補助金(一般・活動分野) (A)は 補助対象事業費 (E) から枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を差し引いた金額の1/2以内 (千円未満切り捨て) として下さい。

ただし枚方市補助金(一般・活動分野) (A)と枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を合わせて申請する場合は、合計30万円を上限とします。(団体希望寄附からの補助金だけの申請の場合を除く。)